

【様式1】

団体名 豊見城市立伊良波小学校	連絡先 TEL：098-850-9213 Eメール：e-irhaha@city.tomigusuku.okinawa.jp
--------------------	--

1 実践事項 (2)

「児童の発達段階に応じた書く力を育成する取組」

2 実践内容

(1) 校内研修を核とした、国語科における「自分の考えを表現する力」を身につけさせる取組

①講師を招聘して理論研修（5月）

・各学年に分かれてのワークショップ等で発達段階に応じた「書く」指導について理解を深める。

②各学年において、「書く」指導についての教材研究を行う。（5月～11月）

③児童の「学び合い」を促す教師の発問、問い返しの工夫

④検証授業の実施（11月～12月）

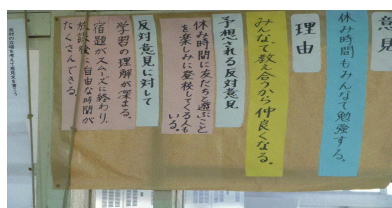
・隣学年・管理職等の参加のもと、検証授業の実施、授業研究会を行う。

⑤諸調査（県学びのたしかめ・標準学力検査等）の分析を行う。

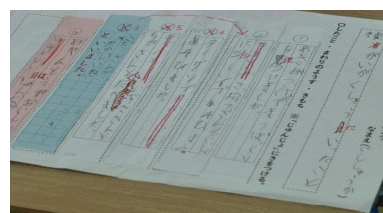
3 説明資料



【教室掲示 低学年】



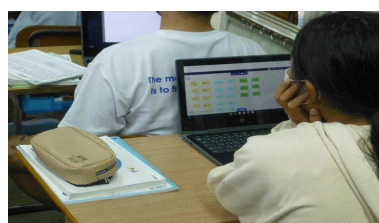
【教室掲示 高学年】



【教師による添削】



【タブレットを活用した「書く」指導】



【タブレットを活用した「書く」指導】



【新聞コンクール県知事賞受賞】

4 成果

(1) 「書く」ことに対して苦手意識をもつ児童が「書くスキル」を身につけることで、主体的に書くことに取り組むことができつつある。

(2) タブレット端末を活用した「書く」指導を行うことができた。

(3) 国語科における「書く」指導に取り組むことで、他教科においても児童の「自分の考え表現する力」を高めることができた。（新聞コンクールにおいて、多くの児童が入賞した）

(4) 諸調査の「書く」設問において、県の平均正答率を上回ることができた。

5 課題

(1) 隣学年の系統性を意識した指導を行うことはできたが、3学年または6学年の系統性を視野に入れた指導を行うための校内研修体制の工夫が必要。